

取扱説明書 改訂版②

エンジン芝刈機

HG-ESN158T (手押し式)

HG-ESN158 (自走式)

HG-ESN188 (自走式)

燃料 無鉛レギュラーガソリン

 エンジンオイルは
入っていません。

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、
内容を理解してからお使いください。



 **HAIGE**



HG-ESN158T



HG-ESN158

WEB でチェック！

最新の取説及び
本製品の操作の仕方などを
ご覧いただけます。



HG-ESN188

目次

はじめに	3	点検・整備の仕方	23
安全上のご注意	3	燃料の抜き方	23
製品を長くご愛顧いただくために	3	エンジンオイルの交換	24
安全にお使いいただくために	4	エアクリナーの清掃	24
エンジン芝刈機に係る安全事項	4	点火プラグの点検・整備	25
エンジン芝刈機の作業に係る安全事項	5	始動スイッチワイヤの調整	26
安全ラベル	6	グリス・潤滑油の塗布	26
各部の名称	7	各部の異音の点検	26
主要諸元	8	刃（バーナイフ）の交換	26
梱包部品一覧	9	ベルトの交換	27
組立て	10	長期間使用しない時	28
ハンドルの取付け	10	困ったときの対処法	29
集草袋の取付け	11	困ったときの対処法（点火プラグの点検）	30
横排出の取付け（HG-ESN188）	12	消耗品・部品一覧	31
運転前の点検	13	FAX 見積り・注文用紙	33
刃、刃取付ボルトの点検	13	保証内容について	34
燃料の給油	13	お客様ご相談窓口	35
エンジンオイルの給油	14		
エアクリナーの点検	14		
集草袋の点検	14		
始動スイッチレバーの点検	15		
各部の緩みやガタツキの点検	15		
運転操作の仕方	16		
エンジンのかけ方	16		
エンジンの止め方	17		
刈高の調整	18		
刈取った芝の排出方法	18		
作業の仕方	19		
芝刈り作業（HG-ESN158T）	19		
芝刈り作業（HG-ESN158、HG-ESN188）	20		
刈込み中に減速、停止したら	21		
起伏の多いところでの芝刈り	21		
坂の上で操作する	21		
作業の終了	22		
運搬、輸送について	22		

はじめに

このたびはエンジン芝刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

エンジン芝刈機に係る安全事項



警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部（シャフト・バーナイフ・ベルト・プーリー等）に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中は絶対排出口をのぞき込んだり足を出したりしないでください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- 本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- 給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 始動前点検を実施してください。
- 急傾斜地では使用しないでください。
- 舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。

安全にお使いいただくために

エンジン芝刈機に係る安全事項



注意

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">燃料はレギュラーガソリンを使ってください。長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。部品交換は、純正部品を使用してください。本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。

エンジン芝刈機の作業に係る安全事項



警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。舗装地や砂利道の上や石・金属等がある所でバーナイフを回転させないでください。エンジン回転中は、刈高の調節はしないでください。走るような操作はしないでください。燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。適切な時期に休憩をとってください。本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取除いてください。作業前にバーナイフに欠け、ヒビや曲がり、破損がないか点検してください。作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、バーナイフに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ再始動しないでください。持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。ぬれた芝生・草を刈らないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。長い髪は束ねて帽子などでカバーしてください。シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。定期点検整備を行ってください。本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

安全ラベル ※安全ラベル添付位置は、実際と異なる場合があります。

ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。

物が飛び出します人や動物を近づけないでください。

回転しているバーナイフにふれると死傷することがあります。

排気ガスに注意、換気の悪い場所でエンジンをかけないでください。

オイルタンクにガソリンを入れしないでください。



騒音に注意してください。

エンジンやマフラーなどが熱くなっています。

修理の時は、点火プラグキャップを外してください。



警告

誤った取扱いをすると、死亡や重症になる可能性があります。

- 本機の機能と各部の操作方法を理解してからご使用ください。
- 子供や不慣れな方に操作をさせないでください。
- 必ず周りを確認してから操作してください。
- 飲酒して操作は絶対にしないでください。
- レバー等を絶対に固定しないでください。
- エンジン始動している時は、絶対に手や足を刈刃の周りに入れないでください。
- エンジン始動している時は、排出口を覗き込まないでください。
- 急傾斜地、舗装地、砂利地等では使用しないでください。
- 運転前に各部の点検を行ってください。

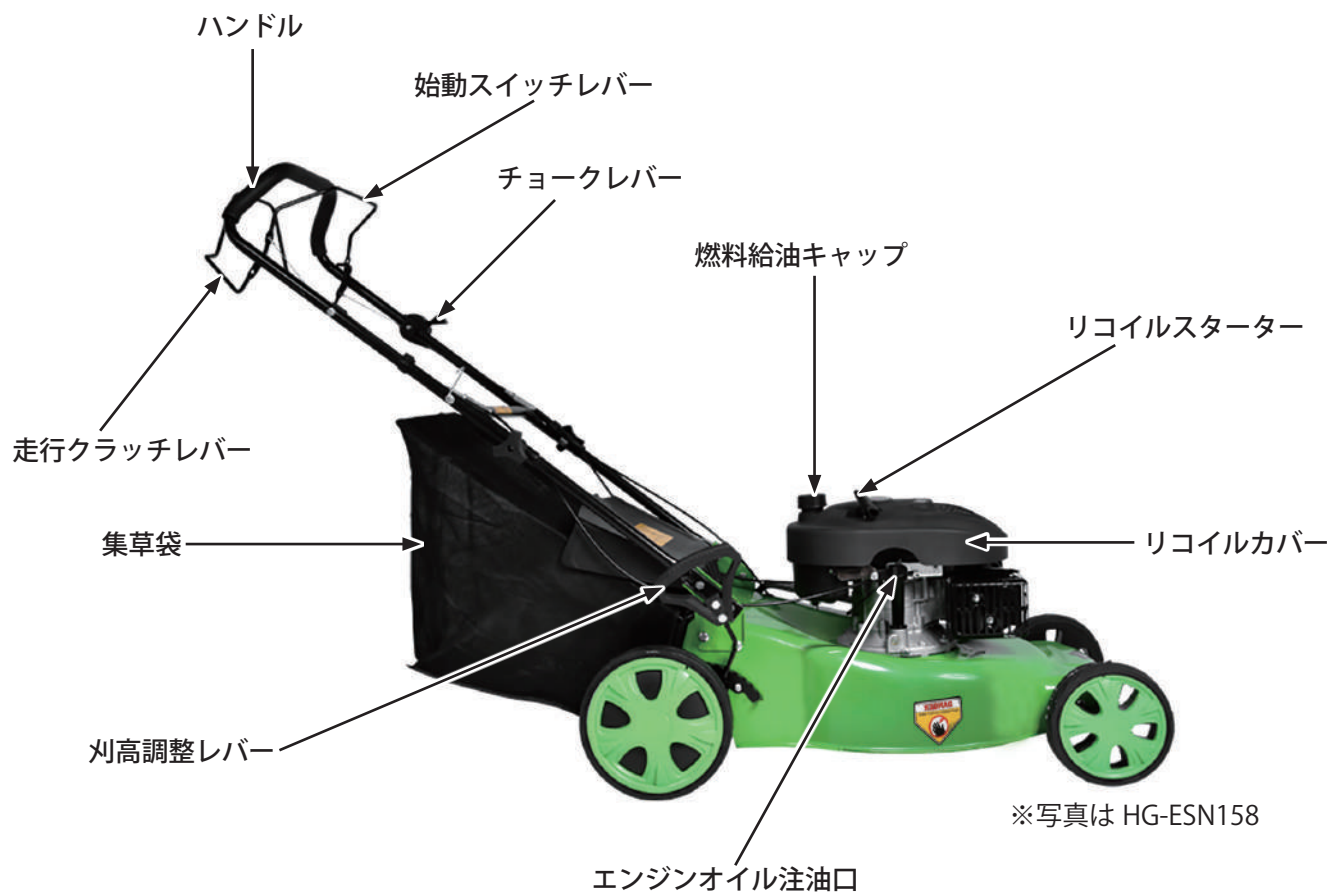
警告

- ・ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物です。
- ・給油の前には、エンジンを切って冷やしてください。
- ・エンジンは有毒な一酸化炭素を排出します。
- ・密閉された場所では使用しないでください。
- ・取扱説明書は必ずお読みください。



各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



主要諸元

	HG-ESN158T	HG-ESN158	HG-ESN188
モデル名			
エンジン形式	4 ストローク OHV エンジン		
エンジン馬力	3.5HP	5.0HP	
総排気量	123cm ³	139cm ³	
駆動	手押し式	自走式後輪駆動	
始動方式	リコイルスターター		
刈高	約 17-67mm まで 10 段階	約 25-750mm まで 10 段階	約 33-97mm まで 8 段階
刈幅	400mm	400mm	510mm
刈面積 (1 時間あたり)	-	約 1800m ²	約 2200m ²
排出方法	後ろ排出	後ろ排出	横 / 後ろ排出
集草袋容量	40L	40L	65L
刃 / 締め付けトルク	バーナイフ / 15N・m		
走行調整	-	1 段前進	1 段前進
走行スピード	-	15km/h	15km/h
燃料	無鉛レギュラーガソリン		
燃料タンク容量	1.3L	1.3L	1.5L
燃費	1L 当たり約 31 分 ※使用状況により異なります。		
エンジンオイル	SAE10W-30		
エンジンオイル容量	約 0.8L		
騒音	96dB		
車輪	前車輪 7 インチ、後車輪 8 インチ ノーパンクタイヤ		前車輪 8 インチ、後車輪 10 インチ ノーパンクタイヤ
重量	21kg	26.1kg	35kg
サイズ (幅×奥行×高さ)	490 × 1120 × 1020mm	490 × 1120 × 1020mm	540 × 1300 × 1060mm

◎ハイガーは、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですがハイガーまでご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. 集草袋



C. 下部ハンドル



D. 横排出 (HG-ESN188 のみ付属)



E. ワイヤクリップ



F. プラグレンチ



組立て

⚠ 注意

- 説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

ハンドルの取付け

本体にハンドルを取付けます。

■使用工具：14mm スパナ

- 1** 本体に仮留めしている左右それぞれ2組のボルト、ナットを一旦取外します。



- 2** 下部ハンドル取付穴と本体の取付穴の位置を合わせ、内側からボルトを挿込み、外側からナットを14mmのスパナで左右交互に均等に締付けます。



- 3** 下部ハンドルに仮留めしているノブを一旦取外します。



- 4** 上部ハンドルを下部ハンドルにかぶせ、固定されるまでノブを締付けます。



- 5** ワイヤクリップでチョークワイヤ、走行クラッチワイヤ(HG-ESN158T はありません)、始動スイッチワイヤをハンドルに固定します。



- 6** リコイルスターターグリップをハンドルにあるストッパーにひっかけます。



組立て

集草袋の取付け

本体に集草袋を取付けます。

- 1** 本体後部の排出カバーを開けます。



- 2** HG-ESN188 の場合は、内側のカバーも取外します。



- 3** 集草袋のフレームにある爪を排出カバーシャフトにひっかけます。



- 4** 排出カバーを放すと取付け完了です。



組立て

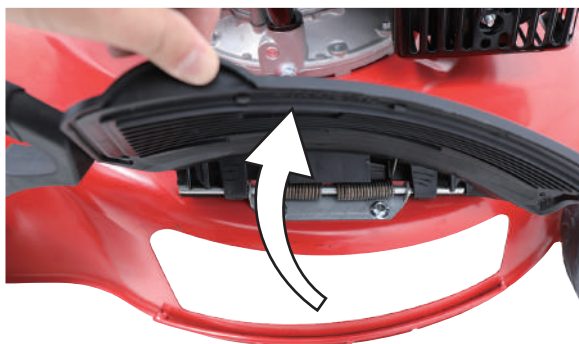
横排出の取付け (HG-ESN188)

HG-ESN188 では、後ろ排出と横排出が選べます。
横排出にする場合は、下記要領で行ってください。

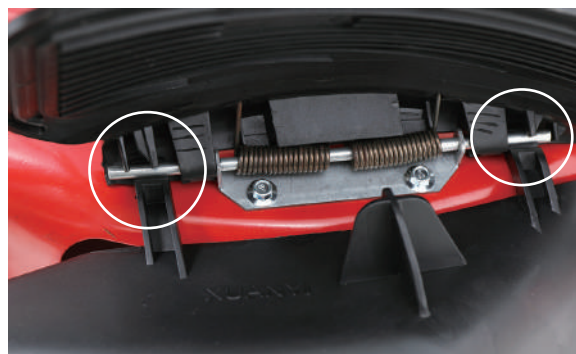
1 集草袋を外し、内側のカバーを取付けます。



2 サイドカバーをあけます。



3 横排出を挿込み、爪をサイドカバーに引っ掛けます。



運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



指示

- ・燃料給油キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

刃、刃取付ボルトの点検

刃（バーナイフ）に、割れ、曲がり、磨耗など異常がないか確認します。

■刃の点検手順

- 1 ガソリン、エンジンオイルを抜きます。(P.23、24 参照)
- 2 本機を横に傾け、バーナイフを目視し、割れ、曲がり、磨耗など異常があれば新品と交換します。



■刃取付ボルトの点検

- 1 刃取付ボルトに緩みがないか確認します。
- 2 緩みがある場合は、刃（バーナイフ）が回らないように枕木等で固定して、刃取付ボルトを右方向へ締付けます。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

古い燃料は絶対に使用しないでください。

- 1 燃料を準備します。

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)	
タンク容量	HG-ESN158T HG-ESN158	1.3L
	HG-ESN188	1.5L

注意

古い燃料は使用しないでください。

- 2 燃料給油キャップを開け、液面を見ながら少しずつこぼさないように給油します。
※上部ギリギリまで給油しないでください。



- 3 給油が終わったら燃料給油キャップをしっかり閉めます。

運転前の点検

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。
下記要領で給油してください。

1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.8L

2 本体を水平な場所に移動させます。

3 オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。

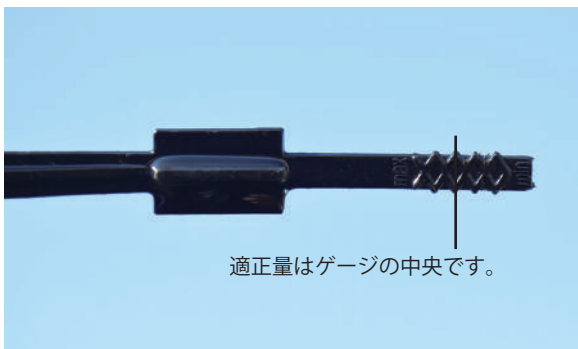


⚠️ 注意

- エンジンテストを行っているため、多少オイルが残っている場合があります。オイルゲージを確認しながら少しずつ給油してください。
- エンジンオイルを入れ過ぎると、エンジンはかかりにくくなります。

4 オイル給油キャップを一旦締付け、再度外します。

5 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



6 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

7 使用2回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

エアクリーナーの点検

エアクリーナーのフィルタの汚れを確認します。汚れたままだとエンジンがかかりません。(点検方法はP.24参照)



集草袋の点検

刈取った芝が集草袋の外に飛び出さないか点検します。

1 破れ、ほころびなどが無いことを確認します。

2 集草袋が確実にセットされていることを確認します。



運転前の点検

始動スイッチレバーの点検

始動スイッチレバーの点検をします。

- 1 始動スイッチレバーを握ったり、放したりの動作を数回繰り返します。
- 2 レバー操作に合わせて、ワイヤが動作することを確認します。
- 3 レバーを放した際、レバーが確実に戻ることを確認します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。
ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。
不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

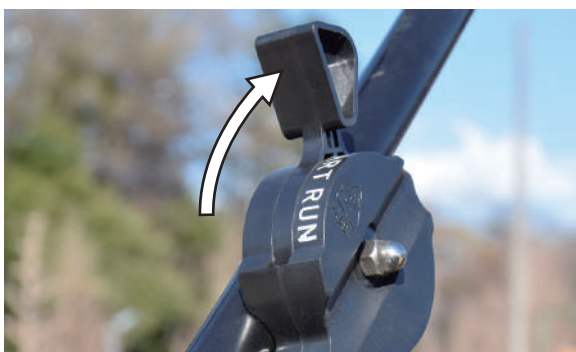
エンジンのかけ方

出荷時には燃料、エンジンオイルは入っていません。
給油後に操作をしてください。

- 1** ハンドルにある始動スイッチレバーを握ります。



- 2** チョークレバーを「START」位置に合わせます。



- 3** リコイルスターターを真っ直ぐに約 70cm 程度引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。



運転操作の仕方

⚠️ 注意

- ・リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

👉 ワンポイント

車体が軽いため、リコイルスターターを引いた際に本体がずれ、引きにくい場合があります。片足をストッパーにし、後輪の動きを止めて行うとスムーズにリコイルスターターが引けます。

- 4** エンジンが始動したら暖気運転を行い、運転状況を確認します。

⚠️ 警告

エンジンがかかると刃（バーナイフ）も回転します。十分ご注意ください。

- 5** 異常がなければチョークつレバーを「RUN」の位置に倒します。



👉 エンジンがかからない時

下記手順をお試しください。

1. 点火プラグキャップを外します。
2. 点火プラグを外します。
3. リコイルスターターを数回引いて、シリンダ内を換気します。
4. 点火プラグの先端をウエス等で拭き取ります。
5. 点火プラグを取付けます。
6. 点火プラグキャップを取付けます。
7. チョークレバーを「START」の位置にします。
8. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

エンジンの止め方

- 1** ハンドルにある始動スイッチレバーを放します。



- 2** エンジンが停止し、刃（バーナイフ）も停止します。

運転操作の仕方

刈高の調整

刈高は、刈高調節レバーで行います。

1 刈高調節レバーを車輪側に引きます。

2 適切な調節溝に入れます。



高さ調整のワンポイント

刈高を「低」から「高」にする場合は、車体を少し上に持ち上げぎみで操作すると、スムーズにレバーが動きます。

HG-ESN158T	約 17 ～ 67mm まで	10 段階
HG-ESN158	約 25 ～ 75mm まで	10 段階
HG-ESN188	約 33 ～ 97mm まで	8 段階

※芝地の条件により、刈高は多少変化する場合があります。

刈取った芝の排出方法

刈取った芝の処理方法は、HG-ESN158T、HG-ESN158 は収納方式、HG-ESN188 は収納方式と横排出方式の 2 通りから選択できます。

HG-ESN158T	後ろ排出	集草袋に収納
HG-ESN158	後ろ排出	集草袋に収納
HG-ESN188	後ろ排出	集草袋に収納
	横排出	本体横側から排出

作業の仕方

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 髪の毛、衣服等を回転部分に近づけないでください。



指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止して運搬してください。
- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 長い髪は束ねて帽子などでカバーしてください。

芝刈り作業 (HG-ESN158T)

HG-ESN158T の走行は、手押し式です。

- 1 作業範囲にある石、木片、空き缶など異物を取除きます。
- 2 集草袋を確実に取付けます。
- 3 ハンドルにある始動スイッチレバーを握り、リコイルスターターを引きエンジンを始動します。(エンジンのかけ方は、P.16 参照)



始動スイッチレバー

警告

エンジンがかかると刃 (バーナイフ) も回転します。十分ご注意ください。

- 4 手でハンドルを押して、芝刈りを行います。

上手な芝刈りの仕方

■徐々に刈高を下げる

日をおいて徐々に刈高を低くすることで、芝生を傷めずにきれいに刈れます。また、芝刈機にも負荷をかけません。その際、毎回刈る方向を変えて重ね刈りすることできれいになります。

■刈るスピードはゆっくり

速すぎるときれいに刈れません。また、詰まりやすくなります。

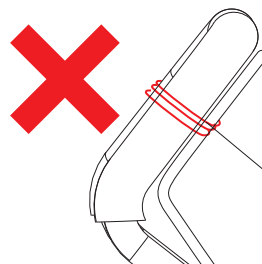
目安として、1m を 3 ~ 4 秒くらいで進むときれいに刈れます。

■濡れた芝生は刈らない

濡れた芝生、草は刈れません。乾いてから芝生、草を刈ります。

警告

- 危険エリアでは作業しないようにしてください。
- 始動スイッチレバーや走行クラッチレバーを紐で縛ったり、クリップで固定したりしないでください。大変危険です。



絶対に紐で縛ったり、クリップで固定しないでください。

作業の仕方

芝刈り作業 (HG-ESN158、HG-ESN188)

HG-ESN158・HG-ESN188 の走行は、自走式です。手押しすることも可能です。

1 作業範囲にある石、木片、空き缶など異物を取除きます。

2 集草袋を確実に取付けます。

3 ハンドルにある始動スイッチレバーを握り、リコイルスターターを引きエンジンを始動します。(エンジンのかけ方は、P.16 参照)



4 エンジンが始動すると、刃(バーナイフ)も回転します。

警告

エンジンがかかると刃(バーナイフ)も回転します。十分ご注意ください。

5 走行クラッチレバーを握ると自走を開始し、芝刈りを行います。



6 走行クラッチレバーを放すと、走行は止まります。

7 本機は走行クラッチレバーを握らず、ハンドルを手で押して芝刈りを行うこともできます。

上手な芝刈りの仕方

■徐々に刈高を下げる

日をおいて徐々に刈高を低くすることで、芝生を傷めずにきれいに刈れます。また、芝刈機にも負荷をかけません。その際、毎回刈る方向を変えて重ね刈りすることできれいになります。

■刈るスピードはゆっくり

速すぎるときれいに刈れません。また、詰まりやすくなります。

目安として、1mを3～4秒くらいで進むときれいに刈れます。

■濡れた芝生は刈らない

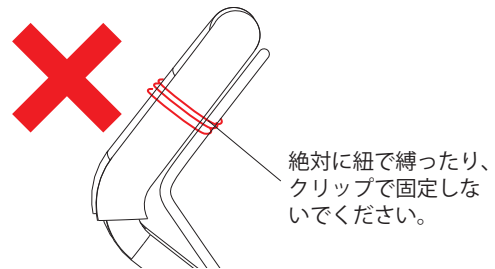
濡れた芝生、草は刈れません。乾いてから芝生、草を刈ります。

注意

- エンジン音が途中で変わったら芝が詰まっている可能性があります。一旦エンジンを切り確認をしてください。
- 本機を刈られていない背の高い草に無理に押し込まないでください。破損の原因になります。
- 石、針金や紐類は取除いてください。
- 石やレンガの壁、縁石、樹木に本機を当てると、破損する恐れがあります。

警告

- 危険エリアでは作業しないようにしてください。
- 始動スイッチレバーや走行クラッチレバーを紐で縛ったり、クリップで固定したりしないでください。大変危険です。



作業の仕方

刈込み中に減速、停止したら

刈込み速度が速すぎて刈込みが追いつかない、異物や蔓の絡まり、集草袋の満杯が考えられます。

- 1 手押しの場合、刈込み速度が速すぎると、処理が追いつかずに詰まりやすくなります。減速を感じたら、一旦バックし、回転が安定したらまた前進をすると解消する場合があります。



- 2 自走の場合は、始動スイッチレバーを放し停止し、回転が安定したらまた前進をすると解消する場合があります。

- 3 異物や蔓が絡まっていたら、エンジンを切り、異物や蔓を取除きます。

- 4 集草袋がいっぱいになっている可能性があります。こまめに捨てるようにしてください。

起伏の多いところでの芝刈り

手押しで作業を行うことをおすすめします。

- 1 起伏の多いところでの芝刈り作業は、ハンドルをしっかり握り、足元に十分注意して作業を行ってください。

坂の上で操作する



15°を超える傾斜の坂の上で、芝を刈らないでください。

- 1 坂の上で上下に移動せず、同じ高さで芝を刈るようにします。坂の上で方向を変える時は、転倒に十分注意してください。



- 2 落下する可能性のある穴、わだち、岩、他の隠れた物体を確認します。岩や木の幹など、すべての障害物を取除きます。

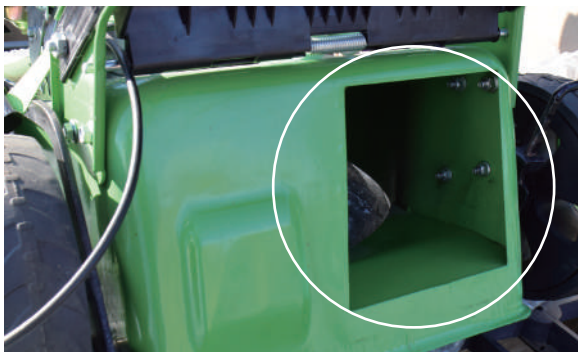
- 3 足元が安定していることを確認します。バランスを崩した時は、直ちに始動スイッチレバーを放してください。

- 4 廃棄物、溝、盛り土の近くで芝を刈らないでください。

作業の仕方

作業の終了

- 1 始動スイッチレバーを放します。
- 2 集草袋を取外し、刈取った芝生を捨てます。(集草袋使用の場合)
- 3 リヤ排出口の芝生、草の詰まりを確認し、詰まりがあれば取除きます。



警告

必ずエンジンを停止してから確認をしてください。

- 4 本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 5 本機や集草袋に付いた芝やホコリなどをきれいに取除き、可動部に潤滑油を塗布します。特にブレードやハウジングには、多くの細かい芝などが付着しますので、次回気持ちよく使用できるように毎回お手入れをしてください。

注意

- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やハンドルの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。

- 6 リコイルカバーやハンドル接続部、刃(バーナイフ)などボルト、ナットの緩み、破損部分がないか確認します。

- 7 子供が近づかない、清潔で乾燥した場所で保管してください。

運搬、輸送について

本機を運搬する時は、次のことにご注意ください。

警告

- 運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- 運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレターからガソリンを抜き取ってください。(P23 参照)
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 本機を吊っての積込み、積降ろしは、フレームの変形や破損の原因、転落等で大変危険です。絶対に行わないでください。
- 運搬は2人以上で行ってください。

注意

- 運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- 本体を水平になるように保持してください。

点検・整備の仕方

警告

- 作業場の清潔、安全を常に確保してください。足を引っかける一切の障害物を撤去してください。
- 作業場には必ず清潔、安全を守ってください。ガラスや木材、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管してください。
- 点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 本体は水平な場所に設置し、作業を行ってください。
- 作業は、十分な採光のもとで作業してください。
- 排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行ってください。
- 火気を近づけないでください。
- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- 点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヶ月後又は 20時間運転後	3ヶ月毎又は 50時間運転毎	6ヶ月毎又は 100時間運転毎	1年毎又は 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.13
エンジンオイル	オイル量	●					P.14
	交換		●	●			P.24
エアクリーナー	清掃			●			P.24
	交換					●	P.24
点火プラグ	清掃				●		P.25
	交換					●	P.25
刃・刃締付ボルト	欠け、摩耗、破損、 緩み	●					P.13

警告

- 緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。ガソリンが漏れると引火の危険があります。
- こぼれたガソリンは布などで、直ちに拭取ってください。

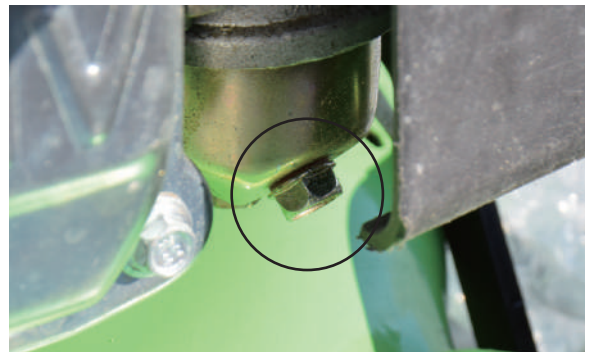
燃料の抜き方

長期間使用しない場合は、必ず燃料を抜いてください。燃料は劣化します。

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。



- 3 ○部分のボルトをスパナやレンチ等で緩めて、燃料を廃油受けに受けます。



- 4 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

点検・整備の仕方

エンジンオイルの交換

【エンジンオイルの交換】

エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を安定した台に載せます。



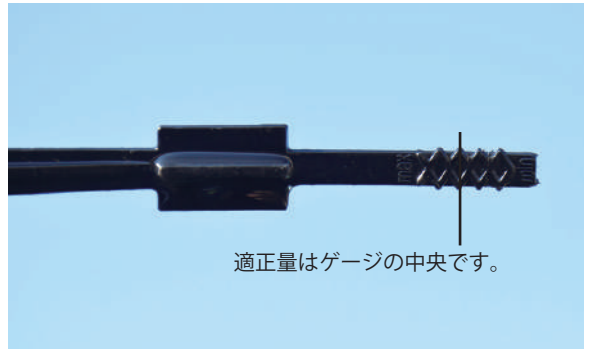
- 3 廃受けをドレンボルトの下に置き、ドレンボルトをスパナ等で反時計回りに回し緩めると、オイルが出てきます。



- 4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 5 市販のオイルジョッキを用意します。



- 6 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



- 7 給油後は、確実にオイル給油キャップを閉めます。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約 0.8L

エアクリーナーの清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃をします。

- 1 エアクリーナーカバーのつまみを反時計回りに回してカバーを外します。



点検・整備の仕方



- 2** エアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



※写真は別機種

- 3** 取外しと逆の手順で取付けます。

点火プラグの点検・整備

点火プラグを取外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

交換時期	1年毎又は300時間運転毎
適応点火プラグ	BPR7ES(NGK)

■使用工具：プラグレンチ（付属）、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1** 金属の点火プラグキャップを持って引抜きます。
※コードを持って引抜かないでください。
- 2** 点火プラグをプラグレンチで取外します。（反時計回り）

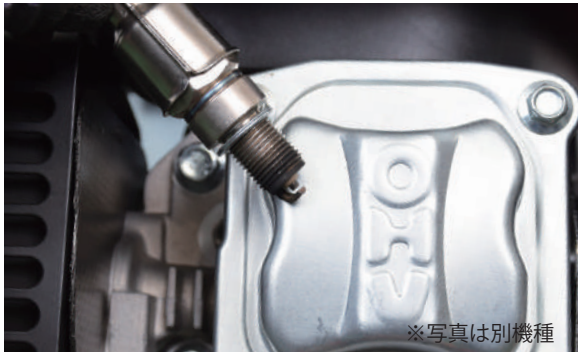


- 3** 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



- 4** プラグキャップにプラグを確実にはめ、プラグ先端を金属部に当てながらリコイルスターターを引きます。この時プラグ先端から火花が出れば、正常です。
※手袋着用で行ってください。

点検・整備の仕方



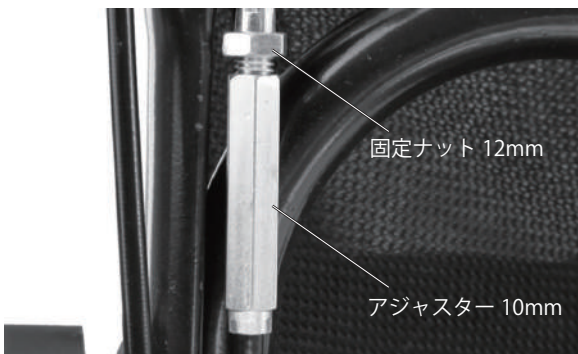
5 取外しと逆の手順で取付けます。

※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめてください。はめ込みがあまりと点火しません。

始動スイッチワイヤの調整

ワイヤの張りの調整を行います。

1 アジャスターの固定ナットを緩めます。



2 アジャスターを回すことでワイヤが締まっていきます。

3 調整終了後、ナットを締めてアジャスターを固定します。

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・撓動部を清掃し、グリスを補給します。可動部分は、潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

各部の異音の点検

始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

刃(バーナイフ)の交換



警告

刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。



注意

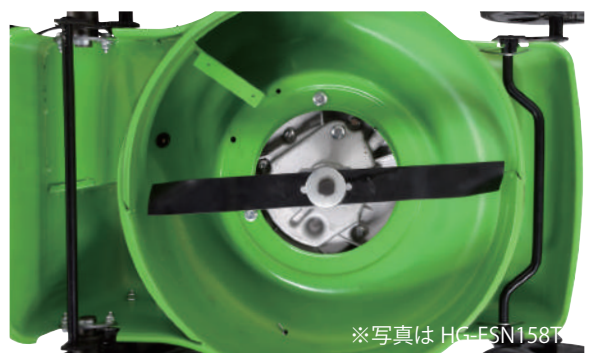
刃(バーナイフ)を含む交換時に必要な部品等は、メーカー純正品をご使用ください。メーカー純正品以外の使用による故障・事故については保証の対象外となります。

1 燃料を抜きます。(P.23 参照)。

2 一人が本機のハンドル側を下に押し下げ、その状態を保持し、もう一人が手順 4 以降の手順で行います。(二人で行ってください)。



3 本機を横に傾けて行う場合は、左側を下にします。エンジンオイルも必ず抜いてください。

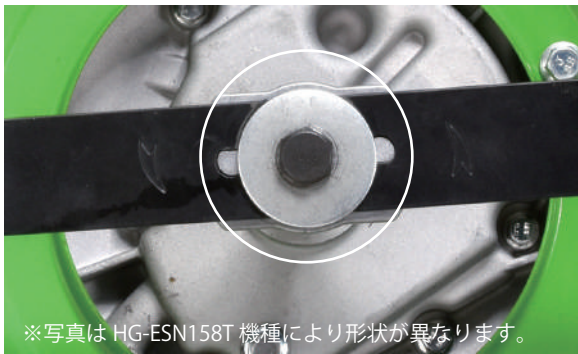


点検・整備の仕方

- 4 当て木等をあてがい、刃（バーナイフ）の動きを止めます。



- 5 17mm めがねレンチやインパクトレンチで、反時計回りに回して刃取付ボルトを取外します。



- 6 新しい刃（バーナイフ）をセットします。
- 7 刃取付ボルトを2カ所に挿込み、当て木等をあてがい、刃（バーナイフ）の動きを止めながら17mm めがねレンチやインパクトレンチで、時計回りに回して締付けます。

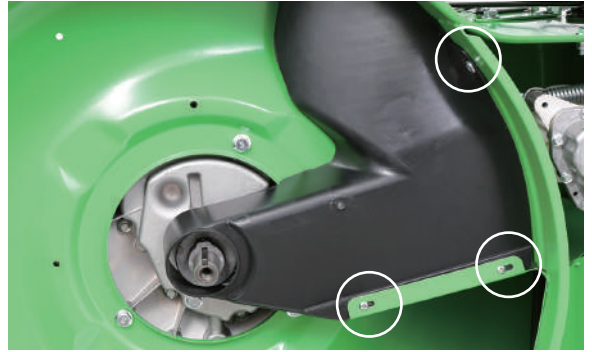
警告

刃（バーナイフ）の取付けが不十分だと、作業中に外れ飛び出し重大な事故の恐れがあります。取付けは確実に行ってください。

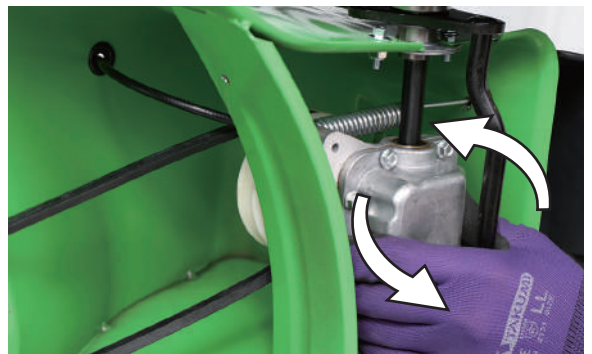
ベルトの交換

走行ベルトの交換を行います。

- 1 刃（ブレード）を取外し、3カ所のネジを取外しカバーを取外します。



- 2 ギヤボックスの左側を手前に右側を奥に動かすとベルトが緩むので、プーリーからベルトを取外します。



- 3 取付けは、取外しと逆の手順で行います。

長期間使用しない時

本機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1** 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置きタイヤ止めをしてください。
- 2** 燃料タンク、キャブレタの燃料を抜きます。(P.23参照)
- 3** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4** 各部のよごれを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 5** 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 6** 防錆、潤滑油を塗布します。
- 7** 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。

困ったときの対処法

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない ※火花の確認方法は、P.30 参照	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.25 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
	イグニッションコイルの不良	交換
	エンジンオイルが少ない、入っていない	確認 (P.14 参照)
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.13 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆び又は、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレターの詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
エンジンがかからない	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.24 参照)
	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.24 参照)

●エンジンはかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

症状	原因	対処
エンジンはかかるが止まる、止まりそうになる	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.24 参照)
	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
白煙が出る	オイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.24 参照)

●うまく刈取りができない

症状	原因	対処
芝が放出されない	オーガカバー内、排出口が詰まっている	詰まりを取除く
	刃に異物や蔓が絡まっている	異物や蔓を取除く
	刃先が極端に摩耗している	新品の刃に交換
芝が刈れない	刈高が合っていない	適切な高さに調整
	芝が濡れている	芝が乾いている時に作業

●過度の振動

症状	原因	対処
本体が振動する	刃のバランスがとれていない	新品の刃に交換
	刃取付ボルトが緩んでいる	ボルトを確実に締めなおす

困ったときの対処法（点火プラグの点検）

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを取外し、先端を確認します。

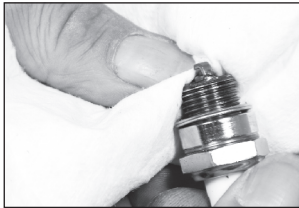


付属のプラグレンチで反時計回りで取外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品・部品一覧

商品名		商品コード	
替刃 (バーナイフ)	HG-ESN158・158T 用	hg-esn158-augern	
	HG-ESN188 用	hg-esn188-augern	
ブレードガイド	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p016n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p022n	
ブレードボルト・ワッ シャセット	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p072n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p062n	
ベルトカバー (アン ダーカバー)	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p013n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p019n	
ベルト	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p017n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p023n	
始動スイッチワイヤ (セーフティワイヤ)	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p014n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p020n	
チョークワイヤ	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p015n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p021n	
走行ワイヤ	HG-ESN158 用	hg-esn-p051n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p052n	
集草袋	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p042-01n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p042-02n	
エアフィルタ	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p043-1n	
横排出	HG-ESN188 用	hg-esn-p025n	
サイドカバー	HG-ESN188 用	188siden	

消耗品・部品一覧

商品名		商品コード	
フロントタイヤ 左右セット	HG-ESN158・158T 用	hg-esn-p007n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p044n	
リアタイヤ 左右セット	HG-ESN158 用	hg-esn-p007-02n	
	HG-ESN158T 用	hg-esn-p15n	
	HG-ESN188 用	hg-esn-p044-02n	
リコイルスターター	HG-ESN158T 用	hg-esn-p071n	
	HG-ESN158・188 用	hg-esn-p010n	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ		ご購入時登録の電話番号	
氏名 会社名	様	普段繋がり やすい 電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ		電話番号	
氏名 会社名	様		
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <input type="checkbox"/> 郵便振替	群馬銀行 館林支店 普通口座 1860509 ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
--	--	---	---

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社又は弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品又は劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃又は先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
又はお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障品を発送いたします。

ハイガー

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



年中無休受付
.....
※年末年始等除く

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、
最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1
ハイガーオフィシャル 検索
<https://haige.jp/>



年中無休受付

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

